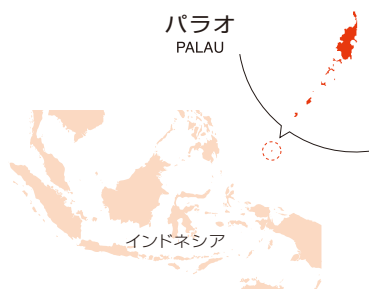


春 夏 秋 冬

8 オマガッタ

親族に囲まれ 黄色に染まる 出産儀礼



大洋州のパラオは、特有の伝統文化を現代に残す島だ。その一つがパラオ語で「オマガッタ」と呼ばれる出産儀礼。第一子の誕生を祝い、母親となった女性の家で親族を集めて祝う風習で、母親は数日間身体を薬湯で清めるなど、パラオの伝統にのっとった儀式を行わなければならない。

そんな一連の儀式を経て、晴れてお披露目の日を迎えた若いカップルのセレモニーに参加した。

全身にウコンを混ぜたココナツオイルを塗り、伝統衣装を身にまとった母親と、赤ちゃんを抱いた父親が皆の前に立つと、祝祭は佳境を迎える。米ドル紙幣を握り締めた親族たちが次々と歩み出て、歌い踊りながらお祝いを渡す。以前はこのご祝儀を、ココナツオイルを塗った女性の身体にペタペタ張り付けていたのだが、紙幣が黄色く汚れて困るという理由で行わなくなっただけだ。

熱帯の屋外。母親の額には黄色い汗が流れ落ちる。早朝から彼女の身の回りの世話をしている女性たちの手も服も真っ黄色だ。

こうして一生に一度の儀礼が無事に終わり、のどかさが戻った家の中を見回すと、ドアや家具や電話にまで、幸せの黄色がすっかりと染み付いているのだ。